

京都本店リニューアルオープン 若林佛具製作所



1階ショールーム ガラス什器の上のペンダントライトが印象的
ペンダントライトとガラス什器に描かれる曲線はしなやかな蓮をイメージしたものを
彩色師と蒔絵師が表現した文様



京仏壇・京仏具を展示する5階の京仏壇ミュージアム
思わず「凄い」と唸ってしまう名品の数々が展示されている

若林佛具製作所（京都・若林智幸社長）は京都本店をリニューアルオープンした。リニューアルオープンにあたっては「つつみこむ」をコンセプトに空間デザイナー・長谷川喜美氏（ベルベッタ・デザイン代表）がデザインを手掛け、テーマ性のある店内を実現している。店舗ファサードは京都らしい格子を採用し、昼は柔かなオーバルな姿を、夜は照明により少し華やいだ印象を演出する。

ガラス張りの店舗一階を特徴付けるのは、ガラス什器の上のペンダントライト。まるでランタンのようなシェードの内側には蓮をモチーフにした伸びやかで優しい曲線が描かれ、このモチーフはガラス什器の他、様々な箇所でシンボルパターンとして使われている。

一階ではプロダクトデザイナー・清水慶太氏による新作仏壇「H A J I M E」も展示。二階は都市型モダン

仏壇の展示スペース、三階は金仏壇と伝統唐木仏壇の展示スペースとなっている。伝統様式仏壇展示の壁面は墨色で少し奥行きを持たせたスペースに仏壇を展示し、照明を巧みに配置することで仏壇を引き立たせる。五階には京仏壇ミュージアムが設けられているが、ここで展示される京仏壇・京仏具は素晴らしいものだ。台輪・長押・框などに透かし彫り金具を用いた京仏壇は一見の価値があるもの。

仏具では具足や輪灯で水銀箔仕上げの製品があり、繊細な彫金の菊輪灯は京仏具の魅力がダイレクトに伝わってくる。

店舗裏には木地工房があり、隣の卯兵衛館では仏具の組立、仏壇の修復なども行われている。

十一月二十八日にプレス内覧会、トークショー「これからの京都のものづくり」、レセプションパーティーが開催され、約250名が集まった。



リニューアルオープンした若林佛具製作所京都本店のファサード（外観）
「つつみこむ」をテーマに伝統的な格子を用い昼と夜とで異なった表情を演出



店舗裏には木地工房を設けておりベテランの伝統工芸士（宮殿士）と若い職人が木地仕事を行う



1階ショールーム ガラス棚には仏具の他様々な工芸品を展示



2階ショールーム 都市型モダン仏壇の展示
明るく落ち着いた雰囲気空間



3階ショールーム 金仏壇の展示 墨色の壁面と照明が印象的



3階ショールーム 伝統唐木仏壇の展示